

## 《防潮堤を15m（海面からの高さ29m）にさらにかさ上げします》

女川原子力発電所では、現在高さ約3mの防潮堤を約15m（海面からの高さ約29m）にかさ上げすることとしました。これに伴い全長も現在の約600mから約800mに延長します。

当発電所では、平成24年4月に現在の高さ約3m（海面からの高さ約17m）の防潮堤を設置するとともに、引き続き、東北地方太平洋沖地震に関わる知見や「新規制基準」

に関する議論の動向を踏まえながら、津波評価の検討を進めてきました。

このたび、極めて厳しい条件での評価として、当発電所敷地前面の防潮堤に到達する津波の最大遡上水位\*を約23mとしました。

現状において、仮にこの規模の津波が発生した場合でも、これまで実施してきた各種安全対策等により、発電所の安全性は確保できると評価していますが、より安全性を高め、地域の皆さまにご安心いただく観点から、自主的に防潮堤をかさ上げすることにしました。

平成28年3月の工事完了を目指し、5月29日より工事を開始しています。

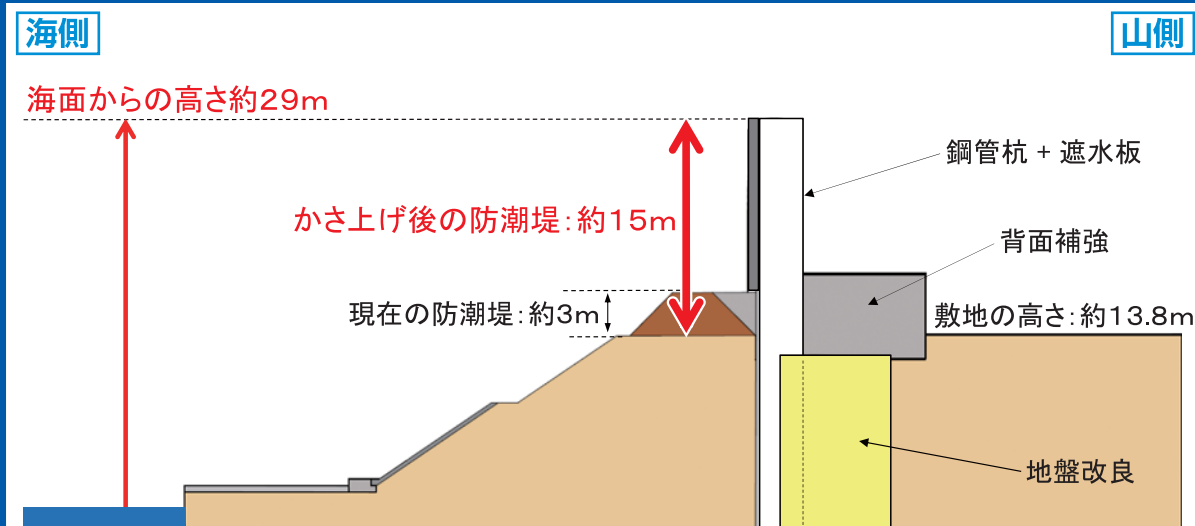
当発電所としては、今後も新たな知見の収集に努め、適切な対策を実施することにより、発電所のさらなる安全性の向上に取り組んでいきます。

\*津波が防潮堤に到達し、その前面でせり上がった結果、最も水位が上昇したところ

### 防潮堤完成予想図



### 防潮堤基本構造（断面図）





## 《世界原子力発電事業者協会 原子力功労者賞を受賞しました》

東日本大震災時における当発電所の対応等が評価され、前発電所長の渡部孝男（現原子力部長）が、世界原子力発電事業者協会（WANO） 原子力功労者賞を受賞しました。

同賞は、原子力発電所の安全な運営に卓越して貢献した人物を対象に厳正な選考を経て授与される賞で、2002年の創設以来、日本人が受賞するのは2例目となります。

今回の受賞は、東日本大震災時、当発電所が「3基すべての原子炉を完全に冷温停止に導いたこと」「被災された地域の方々を構内に受け入れ、地域とともに困難を乗り越えたこと」等が評価されたものです。



## 《事務新館屋上に非常用ディーゼル発電機を設置しました》

緊急時の情報収集・指揮命令の要となる「緊急対策室」の電源を多様化するため事務新館屋上に非常用ディーゼル発電機（300kVA）を2台設置しました。

今回設置した発電機は、外部電源（送電線からの電気）、所内電源（1～3号機にそれぞれ設置されている非常用ディーゼル発電機）等が使用できない緊急時に事務新館内にある「緊急対策室」に電源を供給するものです。

当発電所では、緊急時の電源確保策としてこれまでに、電源車、大容量電源装置や高台電源センターなどの整備を進めてきましたが、今回の発電機の設置により「緊急対策室」の緊急時の電源確保の確実性がさらに高まります。

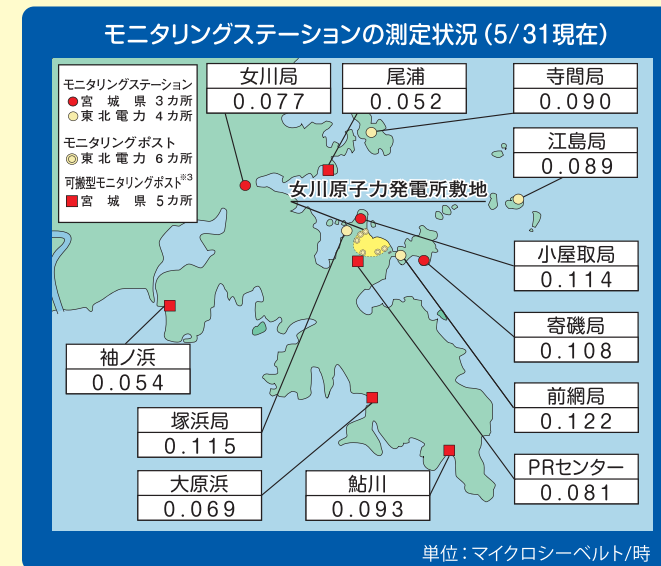


屋上の非常用ディーゼル発電機

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.092マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値

年	日	最小値～最大値
平成23年	3月11日	0.027～0.064
	3月13日	1.8～21*4
平成24年	12月1日	0.057～0.078
平成25年	1月1日	0.055～0.076
	2月1日	0.053～0.073
	3月1日	0.055～0.077
	4月1日	0.055～0.076
	5月1日	0.053～0.074
5月31日	0.052～0.092	

単位：マイクロシーベルト/時

- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、至近6カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

## 女川原子力PRセンターからのお知らせ

### 「ローズガーデンフェア」開催!!

6月15日（土）から7月7日（日）まで（6月17日（月）は休館）、女川原子力PRセンターにて「ローズガーデンフェア」を開催します。

同センター内スイートガーデンでは、1年を通して様々な植物を楽しめますが、特にこの時期は、数十種類ものバラが見頃を迎えます。

期間中、「ミニバラを使った寄せ植え教室」（事前予約制）や、ご希望の方にはバラをバックに撮影した記念写真のプレゼントもありますので、皆さまお誘い合わせの上ぜひお越しください。



### イベント内容

#### ★ミニバラを使った寄せ植え教室 事前予約制 (各日先着30名)

- 開催日：6/16(日)・6/23(日)・6/30(日)・7/7(日)
- 開催時間：11:00～12:00
- 開催場所：女川原子力PRセンター <1F:大ホール>
- 参加費：お一人さま/500円(教材代として)
- 申込方法：お名前、参加人数、電話番号を電話にてご連絡ください。
- 連絡先：女川原子力PRセンター  
TEL：0225-53-3410

#### ★バラをバックに記念撮影 (写真をプレゼント!!)

- 開催期間中の毎日。10:00～16:00（休館日の6月17日(月)を除く）

